

曹洞宗総合研究センター 第19回学術大会プログラム

開催日 平成29年11月1日（水）～2日（木）

会場 曹洞宗檀信徒会館（東京グランドホテル）

第1部会 3階 桜の間

第2部会 3階 蘭の間

第3部会 4階 芙蓉の間

大会日程

1、開会式 11月1日 9:30 桜の間

2、シンポジウム 11月1日 10:00 桜の間

梅花流詠讃歌研究プロジェクト シンポジウム

◇赤松月船師と梅花流詠讃歌

14:30 桜の間

Earth禅堂プロジェクト シンポジウム

◇環境問題に対する新しいアプローチの方途

～アースデイ東京におけるEarth禅堂の試みから～

11月2日 10:00 桜の間

「宗教と法律」研究プロジェクト シンポジウム

◇「人を裁く」事の意味を問う

～一般社会と宗教の「善悪」観について～

3、リレー発表 11月2日 13:00 桜の間 教化研修部門研究部

◇WEBを機軸とした布教モデルの提案

14:20 蘭の間 曹洞宗の「教義」に関する研究プロジェクト

◇四大綱領と発願式

～曹洞宗の教義と教化について～

4、個人研究発表 11月1日、2日

第1部会 桜の間 第2部会 蘭の間 第3部会 芙蓉の間

第1日（11月1日）……………1～3頁

第2日（11月2日）……………4～7頁

第1部会 〈桜の間〉

シンポジウム（10時～14時）

〈シンポジウム〉 梅花流詠讃歌研究プロジェクト

赤松月船師と梅花流詠讃

赤松月船師は梅花流に草創期から関わり、多くの作詞を提供されました。その一方で、文学の世界にも造詣が深く、生田長江氏に師事し、文壇で活躍されました。このように赤松師の活動は文学、曹洞宗教団の双方にその足跡を印しつつ、後半生には梅花流に多くの業績を残しておられます。こうした足跡を、赤松師の行実や文学的業績から探るとともに、近代宗教史の面から考察いたします。

司会：専任研究員 関水博道

プロジェクト員：専任研究員 清野宏道

委託研究員 小嶋弘道

委託研究員 松井量孝

○赤松月船師仏教関係著作目録について

梅花流詠讃歌研究プロジェクト員

○曹洞宗近代布教における赤松月船師の意義

委託研究員 佐藤俊晃

○赤松月船師—その人と文学—

倉敷市立短期大学元教授 定金恒次

○近代宗教史のなかの梅花流詠讃歌

上智大学グリーンケア研究所所長・教化研修部門講師 島蘭 進

シンポジウム（14時30分～17時）

〈シンポジウム〉 Earth禅堂プロジェクト

環境問題に対する新しいアプローチの方途
～アースデイ東京におけるEarth禅堂の試みから～

毎年4月下旬に東京・代々木公園にて開催される「Earth Day Tokyo」（来場者平均10万人）は、地球環境について考え、取り組む一大イベントとして高い認知度と多くの来場者を得ています。私たちは本年、環境問題に対する曹洞宗の啓発活動の一環として「Earth禅堂プロジェクト」を立ち上げ、アースデイ東京に実行委員として参画し、会場においてブース出展等を行いました。当日は多くの方にブースに立ち寄って頂くことが出来、大きな手応えを感じています。本シンポジウムでは、アースデイ東京2017事務局長の鈴木氏を迎え、環境問題に関する社会全体の取り組みについて学ぶとともに、禅や曹洞宗の教えや実践が環境問題と関わる可能性について考えます。

○アースデイ東京の概要と歴史

アースデイ東京2017事務局長・理事 鈴木幸一

○Earth禅堂の目指すもの～開催にいたる経緯と目的

専任研究員 宇野全智

○Earth禅堂開催報告

委託研究員 長岡俊成

第2部会 〈蘭の間〉

個人発表

午後の部（13時～14時20分）

13:00

1. 不遇死における教化法—アンケート結果をもとに 専任研究員 久保田永俊
2. 住職の妻である寺族の教化活動のゆくえ 滋賀県 青岸寺寺族 永島慧子
3. 曹洞宗の女性僧侶にかかわる制度の変遷について 女性と仏教・関東ネットワーク 瀬野美佐

14:00

4. 3法令同時改正〈平成29年3月〉の意味と仏教保育について

育英短期大学 教授 佐藤達全

第3部会 〈芙蓉の間〉

個人発表

午前の部（10時～11時20分）

10:00

1. 『正法眼蔵』における三界という語の用例

宗学研究部門研究員 新井一光

2. 『正法眼蔵』「山水経」巻における無理会話について

特別研究員 清藤久嗣

3. 太容梵清に関する諸資料について

宗学研究部門研究員 秋津秀彰

11:00

4. 正信論争考（十四）－木村泰賢博士と宇井伯壽博士

山口県 龍昌寺住職 竹林史博

午後の部（13時～15時20分）

13:00

5. 「小参」考

宗学研究部門研究員 角田隆真

6. 『正法清規』再考

教化研修部門講師 尾崎正善

7. 建綱と建擲の関係（十一）

岩手県 正洞寺住職 熊谷忠興

14:00

8. 覚浪道盛『尊正規』再考－東臯心越が継承した世界

委託研究員 永井政之

9. 『法界次第初門』に見られる禅観

愛知学院大学講師 大松久規

10. 儒教と如浄禅師再考－『如浄語録』を中心に

駒澤大学非常勤講師 永井賢隆

15:00

11. 無門慧開の生涯と『無門関』

駒澤大学教授 佐藤秀孝

第1部会 〈桜の間〉

シンポジウム（10時～12時）

〈シンポジウム〉 「宗教と法律」研究プロジェクト

「人を裁く」事の意味を問う ～一般社会と宗教の「善悪」観について～

総合研究センター第17回学術大会において開催したシンポジウム「宗教と法律 「裁判員制度」を考える」以降、研究活動を続けていく中で、「仏教の無常・無我の教えの上で、宗教者が人を裁く事、あるいは人の善悪を決める事は可能なのか」との疑問が出て参りました。本シンポジウムでは、「宗教的視点から罪と罰や善と悪の再定義をし、人を裁くこと・赦すことについて、宗教者はシビアに考えるべきではないか」との問題提起を基に議論を深めて参ります。

司会：専任研究員 宮地清彦

シンポジウム講師

○浄土真宗における悪人正機の倫理 浄土真宗本願寺派総合研究所副所長 藤丸智雄

○仏教における宗教的倫理観・善悪観について 福井県霊泉寺住職 南 直哉

第2部会 〈蘭の間〉

リレー発表・個人発表

午後の部（13時～16時）

リレー発表

13：00

教化研修部門研究部

WEBを機軸とした布教モデルの提案

1. S-Laboとは何か？

委託研究員 本多清寛

2. S-Laboの運用と問題点

教化研修部門研究生 中野孝海

個人発表

14:00

1. 仏教イベントの考察 ― 今後の寺院経営の柱とは 教化研修部門研修生 佐粧博史
2. 演劇的技法を用いた布教・教化の可能性 ― 舞台『塩狩峠』を参考に 教化研修部門研究生 中野孝海
3. 来馬塚道にみる布教教化観 教化研修部門研究生 松葉裕全

15:00

4. Amazon[お坊さん便]に登録してみる ― 宗教儀礼は商品か？ SOTO禅インターナショナル事務局 内山温子
5. 正法と法律 僧侶のポリシー ― AIBO供養とペッパー導師で考える こちらOK行政書士事務所 勝 桂子
6. 僧侶派遣サービスの現状と展望 日本出版サービス(株)代表取締役 尾山恒道

第2部会 〈蘭の間〉

個人発表

午前の部 (10時～11時40分)

10:00

1. 禅とマインドフルネスについて 教化研修部門研修生 江刺亮専
2. スピリチュアルの教化論 ― 現代教化の視点から 専任研究員 関水博道
3. 海外における曹洞禅の将来を予測する 専任研究員 南原一貴

11:00

4. 初心者を対象とした坐禅指導プログラムの検討と実践 臨濟宗妙心寺派平林寺僧堂教育研究室主任 亀 慈廣
5. 一般初心者に対する経行指導法の考察 副主任研究員 小杉瑞穂

午後の部（12時40分～16時）

個人発表

12：40

6. 「フードドライブ」「子ども食堂」と曹洞宗の〈食〉の教え 教化研修部門研修生 伊藤正法

13:00

7. 立ち直り支援活動と「場」の力 —スリランカにおける事例から 専任研究員 宇野全智

8. 道元禅師と証真 専任研究員 清野宏道

9. 道元禅師成仏論の教化的展開について 委託研究員 菅原研州

リレー発表

14：20

曹洞宗の「教義」に関する研究プロジェクト
四大綱領と発願式～曹洞宗の教義と教化について～

1. 四大綱領の形成とその扱われかたについて 専任研究員 石原成明

2. 発願式アンケート結果への一考察 専任研究員 関水博道

3. 発願式アンケート結果に見える宗侶の教化意識について 委託研究員 金子宗元

4. 授戒会と発願式の位置づけについて 委託研究員 秋 央文

第3部会 〈芙蓉の間〉

個人発表

午前の部（10時～12時）

10：00

1. 日泰寺仏舎利考 —特に将来の背景について 専任研究員 古山健一

2. 曹洞宗における端午の受容 花園大学国際禅学研究所客員研究員 舘 隆志

3. 「白山信仰」私見 新潟県 長善寺住職 中山成二

11:00

4. 心海撰『宗極抄』と『宗鏡録』－中古天台に『宗鏡録』の援用
駒澤大学仏教経済研究所研究員 千葉 正
5. 石屋真梁開創伝説と双林寺の法問・十人老僧との関連について
元 群馬県立学校長 山本世紀
6. 唐の龍潭崇信禅師と日本の龍潭寺
愛知県 龍潭寺住職 別府良孝

午後の部（13時～16時）

個人発表

13:00

7. 施食会考
宗学研究部門研究員 澤城邦生
8. 宗暁『施食通覧』に筆録された禅僧について
教化研修部門講師 山本元隆
9. 瑩山禅師と浄土思想（三）－「即非」をめぐる解釈の比較
専任研究員 宮地清彦

14:00

10. 『伝光録』古写本再考
駒澤大学大学院研究生 横山龍顯
11. 『伝光録』の定の解釈
駒澤大学大学院 修了 下條 正
12. 『伝光録』に散見される「乃至」について
宗学研究部門研究員 加藤龍興

15:00

13. 『伝光録』における「空劫已前」について
専任研究員 小早川浩大
14. 瑩山禅師の頂相について
教化研修部門講師 伊藤良久
15. 『報恩録』に出る「身心脱落」「非思量」説について
駒澤大学総長 池田魯參